

平成30年度日本小児外科学会  
第4回定例理事会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 24 日（水） 10：00～14：00

会 場：大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センター 4F シミュレーションセンター学習  
ラボ

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、八木 實（理事・会長）、山高篤行（理  
事・副会長）、奥山宏臣、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、  
猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、  
渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、  
橋詰直樹（庶務委員補佐）、浦尾正彦（財務会計補佐）、松藤 凡（第 34 回秋季シンポジウ  
ム会長）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長・利益相反委員会委員長）、米田光宏（施  
設認定委員会委員長）、小野 滋（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務  
委員会委員長）、仁田尾慶太（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、廣部誠一理事、臼井規朗理事とした。
2. 松藤 凡会長より第34回秋季シンポジウムについて開催準備状況が報告され、了承さ  
れた。
3. 平成30年度第3回定例理事会議事録（案）、平成30年度第2回臨時理事会議事録（案）に  
つき、全会一致にて承認された。
4. 審議事項
  - 1) 評議員会・総会進行手順について（藤野庶務委員長）  
藤野庶務委員長より、臨時評議員会・臨時総会進行手順について説明された。

- 2) 第 56 回学術集会について（八木会長、橋詰庶務委員補佐）

八木会長および橋詰庶務委員補佐より資料に基づき、プログラム等について報告・提案  
され、承認された。なお、第56回学術集会は一般社団法人としての初めての学術集会と  
なるが、特定非営利活動法人も継続しているため、今まで通りNPOの総会を行うことと  
し、NPOが解散するまでは役員の選出をNPOと一般社団のどちらの規程にも合致した方  
を選出しなければならないことが確認された。

日時：平成 31 年 5 月 23 日（木）、24 日（金）、25 日（土）

会場：久留米シティプラザ

テーマ：継往開来～小児外科学の継承と発展～

- 3) 第 57 回学術集会について（山高副会長）

山高副会長より資料に基づき、日程や会場、テーマ、プログラム等が提案され、承認さ

れた。

日時：平成 32 年 5 月 21 日（木）、22 日（金）、23 日（土）

会場：都市センターホテル

テーマ：子どもが最初、いつだって

4) 第 35 回秋季シンポジウムについて（米倉次期秋季シンポジウム会長）

米倉次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、了承された。

来週にHPを開設する予定である

日時：平成 31 年 10 月 19 日（土）

会場：大阪国際交流センター

テーマ：小児集中治療

5) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部次々期秋季シンポジウム会長）

廣部次々期秋季シンポジウム会長より、日本臨床外科学会が例年と違う時期に総会を開催することになったため、他の関係学会の日程も考慮し、日本臨床外科学会総会の翌週で日程を予定していると報告された。

日時：平成 32 年 11 月 7 日（土）

6) 庶務委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

7) 財務会計委員会審議事項（浦尾補佐）

浦尾補佐より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

8) 各種委員会審議事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より資料に基づき、前回理事会で承認されたフレームに別の写真の案が 4 パターン提案された。子供だけの写真の場合は日本小児科学会との区別が付きづらいため、子供の写真と手術室の写真をセットにした写真を探し、次回理事会で再度提案することとした。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・小児外科卒後教育アンケートについて

新専門医制度が始まったばかりであり、その実施については、数年経過を見てみないと、有効な情報が集まらないと考えており、又、誰を対象とするのか、初期研修医とするのか、基幹病院宛に送るのか等の調査対象者の絞り込みや、アンケート内容に関してどうしていくかを平成30年度第2回教育委員会(秋季シンポジウムの会期中10月27日〔土〕に開催)で検討予定である。

- ・第35回日本小児外科学会卒後教育セミナー及び第10回日本小児外科学会内視鏡手術セミナーについて

前回理事会で報告した会告案を、前述の教育委員会にて検討し、最終化を進めていく。

(5) 悪性腫瘍委員会 (田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会 (臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、承認された。

- ・学会HPの「小児外科で治療する病気」の改訂について

修正執筆に関しての依頼文、執筆要綱を作成した。

PSJM 期間中の委員会で、執筆を依頼する会員候補を決定し、11月に依頼を行う予定である。

(7) 倫理・安全管理委員会 (野田担当理事)

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会 (山高担当理事)

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について提案がされ、承認された。

- ・「NCD データを用いた、先天疾患を有する患者の悪性腫瘍発生との関連についての研究」の委員会での審議の結果、申請者が意図する研究が実現できるかという問題が残った等の理由があり、今回は採択しないということとした。

(9) 小児救急検討委員会 (奥山担当理事)

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(10) ワークライフバランス検討委員会 (廣部担当理事)

廣部担当理事より、10月26日にワークライフバランス講演会が予定されていると報告があり、公開講座が見送られたため、聖路加国際大学の職員に声掛けして参加を促すこととした。また、今後ワークライフバランス講演会を公開講座にするかについては、継続審議とした。

(11) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(14) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

9) 選挙管理委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

5. 報告事項

1) 専門医制度委員会報告（米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長、小野専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされた。

・臨時評議員会、臨時総会で説明する現制度の変更点、新専門医制度について概要が説明された。

2) 理事長報告（越永理事長）

(1) 第11回メール審議報告（ワークライフバランス検討委員会主催の講演会を公開講座にすることについて）について、保留とし継続審議としたことが報告された。

(2) 第12回メール審議報告（喉頭・咽頭・気管狭窄に対する全国疫学調査について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(3) 第13回メール審議報告（内閣官房健康・医療戦略室からの依頼の回答について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(4) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「「がんばれ！」 vol.170」を受領

した。

(5) 日本医師会からの寄贈本「JMA Journal vol1-1」を受領した。

(6) 日本周産期・新生児医学会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。

(7) 日本消化器外科学会からの通信文「第76回日本消化器外科学会総会の日程のお知らせ」を受領した。

(8) 日本内分泌外科学会からの通信文「日本甲状腺外科学会と統合合併のお知らせ」を受領した。

(9) ヘルシー・ソサエティ賞事務局からの通信文「第15回ヘルシー・ソサエティ賞 候補者推薦のお願い」を受領した。

(10) 日本医学会連合からの通信文「日本学術会議公開シンポジウムのお知らせ」を受領した。

(11) 日本医学会からの通信文「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインについて」を受領した。

(12) 日本医学会からの通信文「献血血液等の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について」を受領した。

(13) 日本医学会からの通信文「血液製剤の使用指針」の一部改定について」を受領した。

(14) 日本医学会からの通信文「ISO/TC249 国際企画提案における単回使用の糸状の埋没用の針について」を受領した。民間療法として使われている規格を承認するかどうかは承認できないと回答し、医療で使うのであれば問題ないといった方向で回答することとした。

(15) 法人格変更についてのパブリックコメントについて、名誉会員の先生から2点コメントがあり、臨時評議員会で回答することとした。

### 3) 総合調整委員会報告（田尻委員長）

田尻委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がなされた。

- ・ 専門医制度関連
- ・ 学会が主導するガイドラインについて
- ・ 学術集会演題の倫理規定について
- ・ 卒前・後教育を含む学生、若手医師のリクルート・育成のための具体的方策
- ・ 小児外科医の実績評価はどうあるべきか
- ・ HPの改訂について
- ・ 臨時評議員会の準備状況の確認
- ・ 産期新生児医学会コンソーシアムについて報告

### 4) 庶務委員会報告（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2018年9月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,825名（うち海外3名）、評議員314名、名誉会員55名（うち海外7名）、特別会員69名（うち海外1名）の合計2,263名である。

5) 財務会計委員会報告（浦尾補佐）

浦尾補佐より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

6) 各種委員会報告

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、小児固形悪性腫瘍の予後追跡調査結果の報告（2006～2010年登録症例について）の作成が完了し、日本小児外科学会雑誌 54 巻 6 号に掲載されたと報告がされた。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(10) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 利益相反委員会（米倉委員長）

米倉委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

7) 次回定例理事会日程の確認（越永理事長）

次回定例理事会は平成31年1月24日（木）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_